

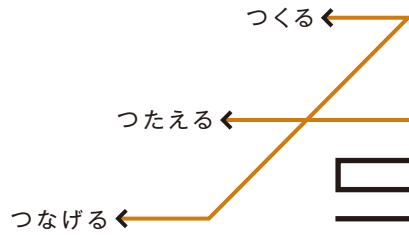


個の力を引き出す。

名古屋市立大学 広報誌

創 innovation 新

Courage to Challenge



S O - S H I N

冬号

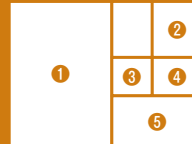
2014

WINTER

vol. 12



Photo Index



- ①アカリのコンテスト
- ②男女共同参画総括シンポジウム
- ③企業研究セミナー
- ④フィリピン台風被害学生募金活動
- ⑤「Apollo4号」発行



目次

学長メッセージ／交流会information……P1 トピックス……P2 名市大ニュース……P3・4 受賞関連／教員著書・発行物紹介／東日本大震災関連情報／カラダのことを考えよう……P5
 人事情報／国際交流……P6 イベントカレンダー／寄附顕彰／省エネへの取り組み……P7



「平成26年 午年を迎えて」



理事長・学長 戸苅 創

Hajime Togari

本年2014年平成26年の干支は「甲午(きのえうま)」、その馬(午)に因みますと馬偏の「駟」なる単語が脳裏に浮かびます。天高く「駆け上がり」、本学の全ての部署で、世に「先駆けた」成果が出る年になりますことを願ってやみません。本学のスローガンの一つにして参りました「個の力を引き出す」精神が定着し、本年がいよいよその成果を出せる年になればと強く思います。当職は、平成22年4月に理事長・学長に就任させていただいて以来、全ての教職員の皆様の獅子奮迅のご活躍の御陰にて、本学の4つのキャ

ンパスでいくつかの大きな改革に立ち会うことが出来ました。まだ記憶に新しいものばかりですが、比較的大きなものを挙げますと、病院東棟新築完成、喜谷記念がん治療センター(化学療法、緩和ケア、トモセラピー)の開設、大型手術支援ロボットの導入、周産期を意識した臨床シミュレーションセンターの開設、看護実践研究センターの設置、人文社会学部のESDを主軸とした学科再編、滝子(山の畑)キャンパス3号館(経済学部棟)と4・5号館(自然科学研究教育センター棟)の耐震改修と内装改修、システム自然科学研究科の新学部を見据えた専攻名の変更(27年度より)、芸術工学部の建築とデザインを強化した学科再編、田辺通キャンパスの改築工事完了、薬用植物園の整備、男女共同参画室の設置と支援事業の採択、さくら講堂リニューアル改修、本学歴史年表の完成、全学TOEIC-IPテスト導入、広報ホットラインの新設、22世紀研究所の開設、名古屋市立大学交流会の創設、文科省厚労省の大型プロジェクトの採択、等々であります。一方で、公立大学法人特有であります名古屋市に依存した会計システム故に、運営費交付金、施設整備補助金の大幅な削減に伴って厳しい運営を余儀なくされました。そのような中にありましても、スローガンに掲げています「温故創新」と「Courage to Challenge」の精神の下、やはりスローガンの一つであります「個の力

を引き出す」ことに注力することが出来ました。昨今、新しい広報システムが機能し、全ての学部・研究科で目を見張るほどの素晴らしい活躍をされる先生方が次々に登場しました。本学がメディア(新聞、テレビ等)に取り上げられた回数も年間で600回を超えるようになり、まさに「個の力は大学の力」であることを実感することが出来るようになりました。

平成25年に満を持して創設されました「名古屋市立大学交流会」は、名古屋市立大学に少しでもゆかりのある方々で構成する新しい組織で、本学を卒業された皆さん、本学を退職された教員、職員の皆さん、さらには有形無形に本学と関係を持たれた皆さんが等しく参加するものです。すでに500名の先達に入会していただき、今後は現役の学生、現職の教職員の皆さんを含めまして大きな組織に発展していくものと思います。入会いただきました皆さんには、特別なEvent(講演会やHome Coming Event等)のご案内の他、学内広報誌「創新」をお届けしまして、最新の大学の情報を提供して参ります。一人でも多くの皆様の力を得まして本学は今後もゆるぎない発展を遂げて参ります。皆様におかれましては、変らぬ温かいご支援を賜りますようお願いして、当職の退官のご挨拶と致します。誠に有り難うございました。衷心より厚く御礼申し上げます。

CLICK!

ウェブサイト「名市大の矜持一学長室から」も是非ご覧ください。▶▶▶ <http://www.nagoya-cu.ac.jp/1759.htm>

交流会 INFORMATION

2014年 3月14日(金) 交流会主催 第2回 講演会 及び 懇親会

講演会 (16:15~17:15) 会費 / 無料

テーマ「薬草利用の基礎知識 ~自然と先人からのいただきものを上手に使うために~」

講師 / 薬学研究科 教授 水上 元

会場 / 医学部附属病院 病棟・中央診療棟 3階大ホール

懇親会 (17:45~19:45) 会費 / 2,000円

会場 / 桜山(川澄)キャンパス内 西棟1階サクラサイドテラス

【申込方法】ホームページ、メールもしくはお電話にて直接交流会事務局までお申込みください。



水上 元

2014年 3月14日(金) 諏訪内晶子&エリック・クランプ

参加無料

国際音楽祭NIPPON
病院慰問ヴァイオリンリサイタル

交流会会員の皆さまは、席に余裕がある限り優先的に参加できます。

会場 / 医学部附属病院 病棟・中央診療棟3階大ホール

時間 / 15:00~15:45

主催 / 国際音楽祭NIPPON実行委員会

公営財団法人ジェスク音楽文化振興会

後援 / 名古屋市立大学交流会

【お問い合わせ】ホームページ、メールもしくはお電話にて直接交流会事務局までお問い合わせください。



諏訪内 晶子



エリック・クランプ



TOPICS

TOPICS

「なごやかモデル」調印式・シンポジウム開催

文科省GP未来医療研究人材養成拠点形成事業「地域と育む未来医療人『なごやかモデル』」がスタートし、2013年12月7日(土)本部棟ホールで、事業の連携大学である名古屋学院大学、名古屋工業大学との間の「未来医療研究人材養成拠点形成事業の共同実施に関する協定」の調印式が行われました。同日、さくら講堂でキックオフ・シンポジウムが開

催され、文部科学省医学教育課長 袖山禎之様から文科省GPのご紹介、国立長寿医療研究センター総長 大島伸一先生の記念講演に続き、6名のシンポジストがプロジェクトの背景や計画を紹介しました。シンポジウムには、3大学の教職員69名、学生233名、その他の関係機関および地域の皆様78名の計380名の方々にご参加いただきました。



▲左より
高橋学長
(名古屋工業大学)、
戸刈学長、
木船学長
(名古屋学院大学)

◀シンポジウムの様子



◀講演会の様子



▼見学ツアーの様子

薬学部ペアレンツ・カミングデー開催

2013年11月17日(日)、全面改築された田辺通キャンパスに学部・大学院学生のご家族を招いて薬学部ペアレンツ・カミングデーが開催され、東は群馬、南は沖縄から約450名の方々が参加されました。メイン会場では5名の学生が学部や大学院での生活を「名市大マイライフ」として紹介する講演会が開催され、終了後にはカフェテリアでの「学食

体験」や、研究室、実習棟・図書館、薬用植物園の3コースからなる見学ツアーを楽しんでいただきました。「子供(や孫)の通う大学を身近に感じることができた」「教員や学生の熱意と意欲を感じた」「充実した1日を楽しめた」など、好意的な感想が多数寄せられました。

TOPICS

TOPICS

広報なごや1月号 ESD特集誌面を市大生が制作

2014年11月に名古屋で開かれる「持続可能な開発のための教育(ESD)に関するユネスコ世界会議」をPRする「広報なごや・特集号」の制作に、市大生8名が取り組みました。2013年7月から作業を開始し、11月に滝子(山の畑)キャンパスで開催された編集会議ではイラスト

トなどの細部について議論が交わされ、その様子が中日新聞でも掲載されました。特集号は広報なごや1月号と同時に発行され、豊かな生態系が維持されている藤前干潟や、発展途上国の商品を公正な価格で購入する「フェアトレード」などについて取り上げられています。



▲編集会議の様子

本学初 文部科学省ミュージアム「情報ひろば」にて研究成果を展示中

文部科学省ミュージアム「情報ひろば」(東京都千代田区)にて、2013年12月2日(月)より2014年3月中旬(予定)まで、薬学研究科コロイド・高分子物性学分野より、未来の光学材料として期待されるコロイド結晶の研究成果について展示をしています。宇宙航空研究開発機構(JAXA)や企業等と共同で行った研究を、来訪者に体験いただけるよう、結晶の実物・サンプル等を展示したり、パネルや映像を用いて紹介しています。本学からは初めての展示となりますので、期間内にぜひお立ち寄りください。

- 展示内容…「コロイド結晶の光学材料応用を目指して
～ソフトな材料の作製、宇宙実験、分光計への応用～」
- 担当者…薬学研究科 コロイド・高分子物性学分野
教授 山中淳平／准教授 奥菌透／講師 豊玉彰子



男女共同参画総括シンポジウム開催

2013年12月13日(金)に、附属病院病棟・中央診療棟3階大ホールにて、男女共同参画総括シンポジウム「多様性のあるゆたかな社会のさらなる実現に向けて—大学における男女共同参画の将来と展望—」を開催しました。本シンポジウムには本学教職員・学生、学外者を含む約130名が参加し、盛会でした。シンポジウムでは、伊藤公雄先生(京都大学)と田間泰子先生(大阪府立大学)の基調講演の後、本学における男女共同参画・女性研究者支援のこれまでの取り組みを総括し、最後のパネル・ディスカッションでは大学において男女共同参画を今後いかに推進していくかを議論しました。



▲パネルディスカッションの様子

特別展「文字のチカラ」を共同開催

名古屋市博物館が愛知県立大学、愛知大学、文化庁と開催する特別展「文字のチカラ—古代東海の文字世界—」に、本学が連携大学として企画に携わりました。展覧会は2014年1月4日(土)から2月16日(日)まで行われ、土器や書物、木簡の展示を通して、古代日本の文字導入や普及の歴史のあとをたどりました。同時に、人間文化研究科の阪井芳貴教授、吉田一彦教授が、博物館を通して学生と地域を結びつぎについて紹介する事前講演会や、人文社会学部生による研究発表、人間文化研究科大学院生が若手研究者チームとして他大学と合同でポスター発表を行った総合発表会「古代文字世界への招待」、吉田教授がパネリストとして参加したシンポジウムなどの関連イベントが開催されました。



▲総合発表会「古代文字世界への招待」の様子(1月19日)



▲吉田一彦教授の講演の様子(2月2日)

「眠気低減シート」を東京モーターショーで展示

2013年11月23日(土)から12月1日(日)まで、東京ビッグサイトで開催された東京モーターショーにおいて、本学芸術工学研究科の横山清子教授と自動車内装部品メーカーのティ・エス テック株式会社(本社埼玉県)と共同開発した「眠気低減シート」が展示されました。座るだけでドライバーの呼吸をモニターし、眠気を検出・低減する、これまでに例の無い夢の技術です。横山教授は



主に生体情報処理の研究を行っていることから、今回、眠くなると呼吸が深くなり、あくびでリズムが乱れる点に着目。センサーにより「眠そうだ」と判断されれば腰部分のモーターが振動する仕組みをティ・エス テック株式会社などと共同研究しています。他方、眠気感知については目の動きの変化をカメラで監視する方法もありますが、横山教授の開発した技術の方が眠気を早く検出できる点で、今後の実用化が期待されています。

大阪市立大学・横浜市立大学との3市立大学包括連携協議会を開催

2013年11月12日(火)、桜山(川澄)キャンパス本部棟にて大阪市立大学、横浜市立大学の学長等に出席いただき、包括連携協議会を開催しました。本取組みは2009年3月に、大阪市立大学、横浜市立大学と3市立大学で締結した包括連携協定に基づき、毎年1回実施しているもので、本学が幹事校となった今回の協議会では、「教員の研究活動の支援」、「卒業生の活用」、「大学のグローバル化」をテーマに、3市立大学の学長及び副学長等による、活発な意見交換が行われ、今後の運営に資する大変よい機会となりました。

22世紀研究所講演会開催

2014年1月30日(木)に、桜山(川澄)キャンパス附属病院病棟・中央診療棟3階大ホールにて、名古屋市立大学22世紀研究所講演会を開催いたしました。

慶應義塾大学 岡野栄之教授をお招きし、「iPS細胞技術を用いて開発する未来の医療」をテーマに、一般向けのわかりやすい内容から、研究者向けの最新の研究を含む専門的な内容まで講演いただき、約210名の参加者の好評を得ることができました。

今後も随時、講演会等を開催する予定です。



▲岡野栄之教授の講演の様子

国際シンポジウム「ESDと大学2」開催

2013年度より「ESD」を教育研究の柱とする学部生まれ変わった人文社会学部では、昨年度に続き、2014年2月8日(土)、滝子(山の畑)キャンパスにて国際シンポジウム「ESDと大学2:持続可能な地域社会のために」を開催しました。本年度は、国内外から実践的にESDと格闘している方々をお招きし、リュネベルグ・ロイファナ大学(ドイツ)のクレメンス・マダー教授(写真左端)には「大学と地域社会をつなぐESD」をテーマにヨーロッパの事例を、延世大学(韓国)の朴泰潤教授(写真左から2番目)には「韓国市民のグリーン・ライフスタイル教育」をテーマに韓国の事例をお話いただきました。大学が地域社会に対して何ができるかを軸に、ESDをさらに具体化させる企画へとグレードアップし、秋に名古屋で開催される「国連ESDの10年」の最終年会合の成功に向けた貴重な機会となりました。



▲お招きしたパネリストの先生方

経済学研究科シンポジウム開催

附属経済研究所主催による「第18回公開シンポジウム データで見る経済と経営」が2013年11月8日(金)に開催されました。最初に、関山友康氏(名古屋市役所総務局統計課長)は名古屋市の人口の推移と東京、横浜、大阪との比較について詳細なデータを示しました。つづいて、福重元嗣氏(大阪大学教授)は、財政学の観点から、日本の財政赤字と成長、金利のゆくえについて基礎的な論点を提示しました。そして、照井伸彦氏(東北大学教授)は、とくにマーケティングの分野におけるビッグデータの取り扱いの今後における可能性についてアカデミックな論点を展開しました。最後に、木村史彦氏(東北大学准教授)は、株式市場の観点から日本企業の競争力について統計的な国際比較分析を行いました。当日は予約された方々を含めて100名以上が参加。昨今のデータブームを踏まえて、経済・経営の現場と研究・教育に関する理論との橋渡しをする機会となりました。



▲木村史彦氏の講演の様子

経済学部・河合篤男ゼミ プレゼンテーション

「グランパスプロジェクト ~学生よ! スタジアムに集まれ~」 成果報告会開催

このプロジェクトは名古屋グランパスと本学、名古屋市の三者による共同プロジェクトです。「試合観戦に訪れる若者をどう増やしたらよいか」という難題に対し、学生チームが答えを探りました。スタジアムや名古屋市を中心とした大学でアンケート調査を実施。調査結果をもとに研究を進め、2013年11月14日(木)名古屋市役所で行われた報告会にて、「因縁のあるライバルチームを設定する」など、学生ならではの視点で考察した研究成果をユーモアを交えながら分かりやすく発表いたしました。「グランパス愛が高い人ほど名古屋に愛着がある」など興味深いデータも示され、参加者は興味深く聞き入っていました。



サークルKサンクス研究活動成果 発表会を開催

2013年12月13日(金)、桜山(川澄)キャンパスにて、経済学部の学生(河合篤男教授ゼミ)及び芸術工学部の学生(横山清子教授指導)が、(株)サークルKサンクスとの連携により進めてきた研究活動成果の合同発表会を実施しました。本取り組みは2011年度より実施している。経済、芸工の2つの学部の特性をコラボさせたユニークな取組みで、今回も、(株)サークルKサンクス等の関係者を前に、経済学部の学生がアンケート等の調査・分析を発表し、その結果をもとに芸術工学部の学生が、広告や販促物等の提案を行いました。「提案の一部を試験的に運用したい」との意見が出るなど、双方にとって有意義な発表会となりました。



▲経済学部学生の発表



▲芸術工学部学生の発表



受賞

※受賞期間：2013年10月1日～2014年1月31日。 ※敬称略、各研究科ごと受賞日順に表示。



●第27回 日本泌尿器内視鏡学会総会
未来の匠賞
●第63回 日本泌尿器科学会中部総会
ヤングリサーチシンポジウム
最優秀演題賞
医学研究科 腎・泌尿器科学分野
講師 岡田 淳志



●愛知労働局
局長表彰
医学研究科
リハビリテーション
医学分野
教授
和田 郁雄



●第46回
日本呼吸器内視鏡学会
中部支部会 優秀演題
医学研究科
腫瘍・免疫内科学分野
臨床研究医
村瀬 博紀



●第43回
結晶成長国内会議
講演奨励賞
システム自然科学研究科
准教授
三浦 均

放射線技師・石原先生が、文部科学省より、
医学教育等関係業務において、
顕著な功労があった者として
表彰されました。

平成25年度 医学教育等関係業務功労者

医学研究科 RI施設
放射線技師 石原 正司



薬学研究科 松永教授が、日本学術振興会より、
科学研究費の配分審査において、
有意義な審査意見を付し、公正・公平な審査に
貢献したとして表彰されました。

平成25年度 第1段審査委員表彰

薬学研究科 臨床薬学分野
教授 松永 民秀



教員
著書・発行物
紹介
BOOK

最近発行された教員の
著書・発行物等を紹介いたします

※発行月順に表示。

教職員の皆様へ

本を出版された方は、今後の誌面で紹介させていただきますので、事務局入試広報課までご一報ください。

本当は危ない植物油

～その毒性と環境ホルモン作用～



薬学研究科
名誉教授
奥山 治美
角川書店
2013年5月

福沢諭吉と多元的「市民社会」論

～女性・家族・「人間交際」～



人間文化研究科
名誉教授
福吉 勝男
世界思想社
2013年9月

ESDと大学



〈監修〉
人間文化研究科
准教授 成 玖美
教授 寺田 元一
〈編集〉人文社会学部
風媒社
2013年9月

東日本大震災関連情報

本学では、東日本大震災への復興支援を引き続き行ってまいります。
今後も学内一丸となって出来る限りの支援を行ってまいりますので、
皆様ご協力のほどよろしくお願い致します。

▶ 陸前高田市中学生 看護体験を実施

陸前高田市と名古屋は、今後の街づくりを担う子どもたちの交流と、
陸前高田市の復興、両市の発展を目的とした「絆協定」を平成24年度に締結しています。
この協定に基づき、2014年1月8日(水)、陸前高田市の中学生を名古屋
市へ招待し、医学部附属病院にて看護師の職場体験を実施しました。
体験に参加した生徒2名は看護師のユニフォームに身を包み、一生懸命に取り組んでいました。



高田東中学 嶋村瑞香さん(右奥)、
第一中学 鈴木響子さん(左奥)と平岡看護部長(中央) ▲



カラダのことを考えよう

花粉症対策について 産業医 加藤 秀章

2月になるとスギ花粉が飛散しはじめ、花粉症の人にとっては、不快な季節が始まります。我が国の5人に1人は花粉症であると言われ、約70%は「スギ花粉症」だと推察されています。スギ花粉の飛散は、4月いっぱいまでみられます。花粉症対策として、まずは花粉情報に注意することが大切。飛散量の多いときには、外出を控えたり、窓や戸を開めておく。外出時には、花粉症用のマスクやメガネを着用するとよいでしょう。

花粉症用のマスクが息苦しい場合は、通常のマスクに湿ったガーゼを挟みこむだけでも効果があります。マスクとメガネによって、鼻と眼に入る花粉の数は、通常のもので1/3～1/2、花粉症用のもので1/3～1/6程度まで減らすことができるというデータがあります。

また、花粉の付着しやすい表面がげばげばした毛織物などのコートの使用は避けましょう。帰宅時には、衣服や髪をよく払ってから入室し、さらに、洗顔、うがいをして、鼻をかむとよいでしょう。

スギ花粉症では、本格飛散開始の予想時期の1～2週間前から薬物療法を開始すると、本格飛散後に治療を開始する場合と比べ、症状をより軽く抑えることができることが知られていますので、本格飛散前に医療機関にかかることをお勧めします。 (参考文献: 確かな花粉症の治療のためにー厚生労働省)

平成25年10月2日～平成26年1月1日 昇=昇任 兼=兼務 異=異動 替=切替

採用

▼事務局 入試広報課

主事(入試係) 室田 真美

▼学術課

事務系職員(産学官連携係) 鈴木 渉太

▼医学研究科

助教(整形外科学) 三井 裕人

助教(心臓・腎高血圧内科学) 山本 浩司

助教(共同研究教育センター・救急部) 山岸 庸太

特任教授(地域医療教育学) 赤津 裕康

看護保健職員(保健師)(地域医療教育学) 木村 雄子

キャリア支援コーディネーター(地域医療教育学) 伊東 真紀

▼医学部事務室

事務系職員(学務係) 山本 郁美

事務系職員(学務係) 棚山 智則

事務系職員(学務係) 深谷 真美

事務系職員(学務係) 久野 貴宏

事務系職員(学務係) 山本 昌輝

▼病院 中央放射線部

診療放射線技師(撮影技術係) 堀内 一樹

異動

▼医学研究科

(昇)教授(リハビリテーション医学) 和田 郁雄(准教授より)

(昇)教授(心臓・腎高血圧内科学) 大手 信之(准教授より)

(昇)教授(神経内科学) 松川 則之(准教授より)

(昇)講師(神経内科学) 大喜多 賢治(助教より)

(昇)講師(共同研究教育センター・中央手術部) 石黒 秀行(消化器外科学より)

(替)寄附講座教授(常勤)

(関節リウマチ制御・機能再建外科学)

永谷 祐子(講師より)

(替)人材育成プログラムコーディネーター

(医学・医療教育学) 阿部 美智代(月給制職員より)

▼病院 薬剤部

(兼)業務係長(調剤係) 加藤 樹理江

(兼)調剤係長(業務係) 水野 裕之

(異)副係長(業務係) 松本 晴年(調剤係より)

(異)薬剤師(業務係) 手崎 世織(調剤係より)

(異)薬剤師(業務係) 松尾 一典(調剤係より)

(異)薬剤師(調剤係) 早川 智章(業務係より)

(異)薬剤師(調剤係) 朝岡 みなみ(業務係より)

(異)薬剤師(調剤係) 平澤 沙恵香(業務係より)

(替)薬剤師(調剤係) 真川 明将(技術系職員より)

▼看護部

(異)看護師(看護事務室) 鬼塚 真実(16階南より)

(異)看護師(看護事務室) 新海 有希子(救急より)

(異)看護師(外科外来) 吉谷 千枝(内科外来より)

(異)看護師(中央手術部) 榎 裕子(ICU・CCUより)

(異)看護師(救命救急センター) 恒川 摩里

(看護事務室より)

(異)看護師(ICU・CCU) 白川 敦子(外科外来より)

(異)看護師(13階北) 福田 真弓(11階南より)

(異)看護師(16階北) 原田 敬恵(救急より)

(異)看護師(11階南) 辻 真希

(歯科口腔外科外来より)

(異)看護師(14階南) 浅野 春香(看護事務室より)

退職

▼事務局 財務課

事務系職員(経理係) 高木 紀子

▼医学研究科

准教授(共同研究教育センター・中央手術部)

岡田 祐二

助教(加齢・環境皮膚科学) 古橋 卓也

助教(脳神経外科学) 西尾 実

特任助教(再生医学) 岸本 恵人

▼看護学部

助教 島田 昇

助教 仲松 たくみ

▼医学部事務室

事務系職員(学務係) 石川 博之

▼薬学部事務室

事務系職員(学務係) 早野 智代

▼病院 薬剤部

薬剤師(調剤係) 鮫島 健太

▼看護部

看護師(看護事務室) 有賀 みはる

看護師(看護事務室) 仙田 佳奈

看護師(化学療法室) 加藤 明日香

看護師(中央手術部) 名和 祥子

看護師(中央手術部) 松崎 祐子

看護師(中央手術部) 水谷 友香

看護師(ICU・CCU) 山田 なつ美

看護師(7階北) 小田木 志帆

看護師(7階北) 池田 和佳美

看護師(14階北) 中村 舞

看護師(16階北) 山中 ゆきの

看護師(16階北) 梅田 美紀

看護師(9階南) 小西 綾子

看護師(10階南) 山口 環

看護師(12階南) 澤田 佳織

看護師(14階南) 安部 恵理子

看護師(15階南) 田窪 晶子

看護保健職員(11階北) 鳥井 富美子

国際交流

セント・トーマス大学との第1回合同シンポジウム開催

2013年11月23日より5日間、医学研究科の岡本尚教授と教員2名、医学研究科大学院生1名および医学部4年生1名の5名でマニラ市にあるセント・トーマス大学(UST)を訪問し、25日にはUSTと本学の第1回合同シンポジウムを開催しました。会場はマニラ市内の他大学からの参加者も含め、およそ200名によってほぼ満席となりました。今回は「Molecular Science」をテーマに双方の研究成果を英語で発表しました。シンポジウム翌日は、学長Very Rev. Fr. Dagohoy OPを表敬訪問し、今後の大学間交流について意見交換をしました。近くて遠かった国の温かい「おもてなし」に触れ、意気軒昂で帰国しました。

シンポジウム翌日の学長表敬訪問(左端: Very Rev. Fr. Dagohoy OP学長)▲



黒竜江中医薬大学と大学間交流協定を締結

2013年10月31日、中国の黒竜江中医薬大学と大学間交流協定を締結しました。同大学は黒竜江省ハルビン市に所在し、8学部20学科、3研究科21専攻、2つの附属病院のほか、中国国家中医薬管理局重点研究室なども有しており、中国国内の中医薬大学の中でも上位にランクされる大学です。今回の協定締結に基づき、今後は両学における教員・学生との交流や研究分野での情報交換などの活発な交流が期待されます。



李時珍像と大学本部▲

平成25年度 外国人客員研究員等の招へい(2014年2月末迄)

外国人客員研究員等招へい者				研究課題名	申請者
氏名	国籍	現職	招へい期間		
Daniel Costanzo (ダニエレ・コスタンツォ)	イタリア	Associate Professor, Department of Structural and Geotechnical Engineering, Politecnico di Torino (准教授、トリノ工科大学構造・地盤工学部)	平成26年1月18日～1月24日 (7日間)	塔状構造物の不同沈下問題とその対策	芸術工学研究科 教授 青木 孝義
Ngo Le-Van(ゴレバン)	ベトナム	ベトナム国立大学(ホーチミン校) 自然科学部教授	平成26年1月16日～1月24日 (9日間)	ベトナムにおける薬用資源植物の保全と開発に関する研究打合せ	薬学研究科 教授 水上 元

イベントカレンダー

参加費等、詳細はホームページをご覧ください。▶▶▶ <http://www.nagoya-cu.ac.jp/event/>

イベント名	開催日時・場所	申込方法
第85回 サイエンスカフェ イン 名古屋 「パラドックスが導く論理の限界 ～ウソつきは学問の始まり?～」 システム自然科学研究科 講師 田中 豪	3月14日(金) 18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク7階 7th cafe(セブンスカフェ)	メール・FAX・電話 scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL 872-5802 FAX 872-1531
マンデーサロン 「トルコから『日本』を読む ～ステレオタイプの日本理解を超えて～」 Dr. Tolga ÖZSEN(トルガ・オズセン) Canakkale Onsekiz Mart University, Turkey (外国人短期客員研究員)	3月24日(月) 16:30~18:00 滝子(山の畑)キャンパス1号館 1階会議室	参加費無料 予約の必要はありません。 使用言語: 日本語
Human&Social サイエンスカフェ 第65回 シリーズ「日本」を考える(1) 「日琉二つの王朝文化をくらべてみる」 人間文化研究科 教授 阪井 芳貴	4月12日(土) 15:00~17:00 桜山(川澄)キャンパス 西棟1階 サクラサイドテラス	メール・FAX・電話 institute@hum.nagoya-cu.ac.jp TEL・FAX 872-3536
医療・保健 学びなおし講座 春期	4月15日(火)~8月5日(火) 18:30~20:00 毎週火・水・木(1講座全15回) 桜山(川澄)キャンパス 医学部研究棟11階 講義室A	メール・FAX・電話 manabi@med.nagoya-cu.ac.jp TEL 853-8077 FAX 842-0863
第86回 サイエンスカフェ イン 名古屋 「エイダ・ラプレス ～バイロンの娘、世界初のプログラマー～」 システム自然科学研究科 教授 鎌田 直子	4月18日(金) 18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク7階 7th cafe(セブンスカフェ)	メール・FAX・電話 scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL 872-5802 FAX 872-1531
授業公開	① 経済学部 「入門経営学I」 4月10日~7月17日の木曜日 13:00~14:30 滝子(山の畑)キャンパス3号館 101教室(予定)	詳しくはお問い合わせください。 ①山の畑事務室事務第一係 TEL 872-5703 ②山の畑事務室事務第二係 TEL 872-5808 ④芸術工学部事務室 TEL 721-1225
	② 人文社会学部 「心理検査法1」 4月10日~7月17日の木曜日 9:00~10:30 滝子(山の畑)キャンパス1号館 310教室(予定)	
	③ 人文社会学部 「政治学」 4月15日~7月29日の火曜日(4月29日、5月6日除く)、7月24日(木) 10:40~12:10 滝子(山の畑)キャンパス2号館 404教室(予定)	
	④ 芸術工学部 「建築史」 4月15日~7月29日の火曜日(4月29日、5月6日除く)、7月24日(木) 9:00~10:30 北千種キャンパス管理棟2階 A202教室(予定)	

寄附顕彰

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。

(五十音順・公表に同意された方。2013年10月1日~12月31日現在)

200,000円以上	北林 善隆 様	5,000円以上	北尾 和之 様、高田 敬勝 様、田丸 利昭 様、土居 照幸 様、西浦 示 様、福澤 真也 様、増田 健 様、村口 優子 様、山田 伝夫 様
100,000円以上	上野 靖雄 様、尾林 俊彦 様、田村 みゑこ 様、脇田 孝蔵 様、渡辺 純三 様	非公表	飯島 幹雄 様、井口 敏之 様、井上 涉 様、今井 良次 様、大嶽 康行 様、奥田 幹雄 様、尾崎 重仁 様、河野 陽一 様、近藤 智津子 様、鈴木 博 様、辻 清司 様、釣 陽介 様、徳田 則昭 様、鳥内 雅弘 様、中田 和明 様、中山 政秀 様、林 一巳 様、日比野 稔 様、福井 清 様、水上 縁 様、美濃部 敏孝 様、宮崎 正巳 様、宮本 博之 様、目方 敏広 様、山下 恭司 様、山田 芳範 様
50,000円以上	伊藤 信義 様、高辻 良成 様		
10,000円以上	青山 政充 様、伊藤 彰夫 様、伊藤 八郎 様、大久保 圭一 様、小笠原 康美 様、岡田 雅文 様、小野里 純男 様、亀井 武司 様、川崎 泰 様、河内 康 様、喜多村 雅夫 様、鬼頭 晃 様、小玉 隆 様、榎原 仁作 様、篠崎 和夫 様、千布 晴彦 様、鳴神 大平 様、原 純夫 様、久永 修一 様、深本 忠男 様、水野 郁夫 様、柳生 憲紀 様、山田 茂則 様		

省エネへの取り組み

<エネルギー使用量の対前年度比>

2013年 4月~9月

	電気(kWh)	ガス(m ³)	水(m ³)	CO ₂ 換算(t)
全体	▲1.0%	+11.6%	+4.0%	+2.99%

2013年夏においては、各キャンパスにおいて省エネ対策に取り組みましたが、電気使用量については削減が図られたものの、初夏の気温上昇等の影響により、ガス・水道使用量は増加しました。そこで冬季に向けて、省エネに関する取組点検表を作成するなどし、省エネ活動の強化を図りました。引き続きエネルギー消費削減へのご協力をお願いいたします。

◎ご意見・情報募集中!

学内広報誌「創新」のご感想や掲載したい情報を、ぜひ事務局入試広報課までお知らせください。また、広報に関する報告・相談には「広報ホットライン」をご活用ください。

教職員限定サイト ▶▶▶ <http://intra.nagoya-cu.ac.jp/intra/hotline>

<ご協力ください> 敷地内・周辺道路は禁煙です。



発行/平成26年2月

事務局入試広報課 TEL: 052-853-8328 FAX: 052-853-0551

E-mail: ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

名古屋市立大学ウェブサイト ▶▶▶ <http://www.nagoya-cu.ac.jp/>